

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

学校企画課長 福間 俊行

電話番号

0852-22-5408

事務事業の名称	進路希望実現のための講師配置事業	
目的	(1) 対象	○進路指導教員代替講師配置 … 専門高校及び就職者の多い普通科高校20校 ○教科指導充実講師配置 … 進学者の多い普通科高校13校
	(2) 意図	○進路指導主事等の授業時数を軽減し、求人開拓等の機会を増やし、就職指導の充実・強化を図る。 ○少人数指導や個別指導等の個々の生徒に応じたきめの細かい教科指導の充実を図り、進路希望実現に向けた支援を強化する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導教員代替講師代替事業において、進路指導主事または就職担当教員の授業時数を軽減するために、講師を配置し、就職指導の充実・強化、とりわけ県内就職に向けた支援の強化を図る。 ・教科指導充実講師配置事業において、少人数指導・習熟度別指導・個別指導等一人一人に応じたきめの細かい指導の充実を図るとともに、講師を配置し、多様な生徒の進路希望実現を図る。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県立高校生就職内定者における県内就職内定率	目標値		80.0	83.0	83.0	85.0	%
		取組目標値						
	式・定義 県内就職内定率×100/就職内定者	実績値	74.2	76.6				
		達成率	-	95.8	-	-	-	-%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	-%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	43,470	83,190
うち一般財源 (千円)	41,882	83,190

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

就職希望者の就職内定状況は、高水準を保ちながら年々上昇しており、過去5年間の推移は、H23年度 97.7% → H24年度 98.3% → H25年度 98.6% → H26年度 99.5% → H27年度 99.5% となっている。一方、就職内定者の県内就職率については、H23年度 77.6% → H24年度 78.6% → H25年度 77.4% → H26年度 79.2% → H27年度 74.2% → H28年度 76.6%となり、H27年度でいったん下降した県内就職率は、H28年度末で回復した。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

進路指導教員代替講師配置により、生徒面談等で生徒と向き合える時間が確保され、進路指導が充実したことや、県内企業との連携、求人開拓、就職した卒業生のフォローアップなど対外的な業務も充実したことから、高い就職内定率につながっている。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

H28年度の県内就職内定率については、県東部では、80%台を維持したものの、H27年度より数値が下がった。また、県西部では、H27年度より改善されたものの、目標値の80%台には届いていない。

②困っている状況が発生している「原因」

景気の回復にともない、求人数が県内企業以上に県外企業で増えており、県外志向がやや強まっているため。また、県西部を中心に、従来から就職先として山陽方面志向が根強いこと。

③原因を解消するための「課題」

山陽方面を中心に従来から県外志向が強い県西部の高校において、生徒・保護者に地元企業の魅力をどう伝えるかが課題である。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

県西部では、地元企業を理解する機会として、企業・保護者・教職員が集うセミナーが開催され、成果が出てきている。今後もこのようなセミナーを継続的に行うとともに、県東部にも、こうした地元企業を理解する機会を順次拡大していきたい。